

\*12月号には、音声コードが印刷されています。  
専用の読み上げ装置で読み取ると、「きずな」  
の内容を音声で聞くことができます。

ひろげよう こころのネットワーク



## ひょうご人権ジャーナル

2016  
平成28年

12

# きずな

K I Z U N A

特集  
テーマ

障害のある人

"障壁"のない社会へ

12月4日～10日は  
人権週間です。



### ② 「あきらめない心」

伊藤 真波さん(北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表・日本初の義手看護師)

### ③ 「『障害Go』障害という課題を見つけ解決していこう」

久野 研二さん(NPO法人障害平等研修フォーラム 代表理事)

### ④ 「発達障害への理解を深める」

和田 康宏さん((社福)あかりの家 ひょうご発達障害者支援センター(クローバー) センター長)

### ⑤ 「障害のある人への就労支援」

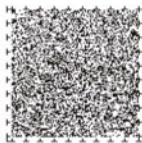
高井 敏子さん((社福)加古川はぐるま福祉会 理事長兼センター長)

### ⑥ 「拉致問題の早期解決を願って」

拉致問題の早期解決を願う国民のつどいin 米子(鳥取県)

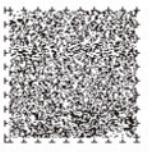
### ⑦ ふれあいサロン

### ⑧ 情報ぶらざ



兵庫県マスコット  
はばたん

兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会



障害者差別解消法が今年4月に施行され、障害のある人にとって住みやすい社会づくりが進められています。一方では、障害のある人への偏見や差別など解消すべき課題が残っています。本号では、障害の有無にかかわらず、すべての人の権利や多様性が尊重され、お互いの信頼が確立される住みよい社会について、考えてみましょう。

# あきらめない心

北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表  
日本初の義手看護師

いとう まなみ  
伊藤 真波さん

交通事故で右腕を失う前までの私は、どこにでもいる普通の女の子でした。おしゃれをしたり、買い物をしたり、これからもずっと目の前にある当たり前の生活が続くものだと思っていました。それがある日、人生のどん底、真っ暗闇の中に突き落とされました。今となっては「普通」ってなんだろうと考える毎日を送っています。

## 私を襲った突然の事故

私は20歳の時にバイクで交通事故に遭い、治療の甲斐もむなしく右腕を切断する決断を強いられました。鏡に映る腕がない姿を見ては「きっとこれは夢の中に違いない…」と目を背ける毎日でした。

家にひきこもる私に、両親は悲しい目を向けていました。「両親を悲しませたのは私だ。私が笑わなかつたら一体誰が笑えるようになるの?」と奮起した瞬間でした。

それまでは障害を隠すためにたくさん服を着こんでいました。しかし、いつそのこと服を脱いで「切断した傷跡を皆に見てもらおうじゃないか! そうでもしないと強くなれない! 弱いところを隠していたら前に進めない!」私はそう思ったことがきっかけで競泳を始めました。

**夢をもう一度**  
夢を失いかけたことで今まで私は「夢に生かされてきた」ことに気づかれ、義手の看護師になる決心をしました。しかし、日本には義手を使って看護師をしている人がいませんでした。



5歳から始めた水泳を活かして、パラリンピックに出場。

北京パラリンピック（2008年）  
100m平泳ぎ 4位 100mバタフライ 8位  
広州アジアパラリンピック（2010年）  
100m平泳ぎ 2位  
ロンドンパラリンピック（2012年）  
100m平泳ぎ 8位

た。看護師専用の義手を製作するところから大変でしたが、「前例がない」事に挑む楽しさもありました。義手の看護師になれたのも、もう二度と夢を離したくない思いからでした。

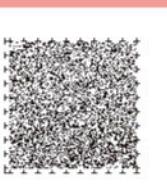
結婚して子どもが生まれた今私は、自分だけではなく大切な家族を守るために強い心が必要になりました。腕を失ったことで気づかされたことばかりのこの人生。腕一本の代償は大きいけれど、それ以上に得たものがたくさんありました。これからも腕がない、ありのままの姿で輝いて生きていけるよう頑張りたいと思います。



看護業務は専用の義手をつけて行っていたとのこと。一日中義手をつけていると肩が凝ると伊藤さん。

## プロフィール

1984(昭和59)年、静岡県生まれ。2003(平成15)年、静岡県医師会看護専門学校入学。2004(平成16)年に交通事故に遭い、右腕を切断。兵庫県立リハビリテーション中央病院にて義手製作に取り掛かる。2007(平成19)年、神戸百年記念病院に入職。パラリンピック競泳選手として活躍。現在は退職し、子育ての傍ら、講演活動を行っている。



# 『障害GO』障害という課題を見つけ解決していくこう

NPO法人  
障害平等研修フォーラム代表理事

久野研一さん

皆さん、「障害とは何ですか?」と質問されたらどう答えますか? 試しに「障害とは○○である」という答えを作つてみましょうか。

では、同じ質問を次の絵①を見て考えたらどうでしよう。最初に作った答えと同じでしようか。この絵を見た答えと同じでしようか。この絵を見て「障害はどこにありますか?」と聞かれたら、「どこにあると答えますか。脚でしょうか、階段でしょうか。それとも他の場所でしょうか。

今度は絵②を見てみましょう。「この場面に何か問題はありますか。この絵は「障害平等研修」で使用する教材なのですが、中部地方のある都市でこの教材を使って「何か問題はありますか?」ということを議論したところ、参加者から「車いすにブレーキが無く危ない」という意見が出ました。確かにブレーキがついていないのは危険ですね。そこで、「他に問題はありませんか?」と尋ねたら、その方は「他に問題はありません」と答えました。皆さんには「店員が車いすの女性に直接話しかけていいない」ということが問題と見えたのではないか。

この店員の対応は障害者差別解消法では差別的な対応と考えられます。ブレーキを問題と考えた人は、なぜこの対応を問題と考えなかつたのでしょうか。「」の問題が見えなかつたのでしよう。「」の問題が見えなかつたのでしよう。同じ絵を見ているのに、問題が見える人と見えない人がいるようです。障害という問題を解決していくにはまず、障害が差別や排除とを見抜く目が必要なのではないでしょうか。

今年4月に施行された障害者差別解消法という新しい法律では、障害を「障害の社会モデル」という新しい見方で見直そうとしています。これは障害という課題は、単に心身の機能的な問題ではなく、障害者に対する差別や排除



絵① ©障害平等研修フォーラム



絵② ©障害平等研修フォーラム

といった人権の課題として起こつている問題であり、その原因は私たち一人ひとりの持つ偏見も含め社会や環境の側にある様々な障壁にあるという考え方です。

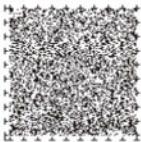
障害者差別解消法では、この障壁を取り除いていく方法の一つとして合理的配慮の提供を位置付けています。言葉は難しいですが、飲食店が点字のメニューを準備したり、会合に手話通訳者を配置したりすること、また簡単なところでは、例えば車いすのお客さんが来られたら高いところにある商品を取つて渡すとか、視覚障害の方が来られたらメニューを読み上げるといったこともあります。

ポケモンGOではありませんが、皆さんに周囲にある障害という課題を見つけ、それを一つずつ解決していきましょう。

## プロフィール

NPO法人障害平等研修フォーラム代表理事、国際協力機構国際協力専門員(社会保障)、日本福祉大学大学院客員教授。英国イースト・アングリア大学大学院博士。課程修了(開発学博士)著・訳書に『ピア・ボランティア世界へ』(2012年、現代書館)、『障がいって、なあに』(2004年、明石書店)など。

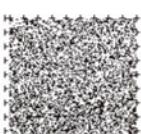




# 発達障害への理解を深める

(社福)あかりの家  
ひょうご発達障害者支援センター(フローバー)  
センター長

和田 康宏さん



## 発達障害について

「友達とうまく遊べない」、「落ち着きがなく、着席行動がとれない」、「段取りよく仕事ができない」、「これらの状況はその人の努力不足ではなく、障害ゆえに現れていることかもしれません。」

2005(平成17)年に施行された発達障害者支援法では、発達障害を「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であつてその症状が通常低年齢において発現するもの」としています。

発達障害とは、何らかの原因により発達の偏りが生じ、日常生活や社会適応に困難がもたらされている状態であり、親の育て方や環境などによるものではありません。発達障害の基本的な特性は生涯にわたって継続してみられ、基本的な認知のあり方は急には変わらないものですが、発達や支援によって行動特性は変化する可能性があります。

これらの障害は、いろいろな特徴において、その現れ方に強い人と弱い人の違いがあつて千差万別です。また、知的な遅れがある人もいれば、高い知能を持つ人もいます。一人ひとり特徴が異なるということを踏まえた上で、支援を考えいくことが大切です。

## 【広汎性発達障害】

「相互的な対人社会性の障害」「コミュニケーションの質的な障害」「想像力(イメージーション)の障害」の3つの特徴を持ちます。分かりにくさへの支援として、図やイラストなどで見てわかる工夫や具体的に伝えること、予定を前もって伝えることで見通しを持たせることによって安心して過ごせることがあります。

## 【学習障害(レロー)】

知的発達に大きな遅れはないのに、学習面で特異な躊躇があり習得がとても困難であるなど、能力に「ぼけ」があるのが特徴です。文字を読むことが難しきたり、形の似た字の識別が難しかったりすることがあります。字を書く升<sup>ます</sup>を目を大きくすることや、読むところ以外の所をかくすようになるなど、認知の特徴に合わせた指導が必要になります。

すことで、自尊心の低下を招くことがあるので注意が必要です。

このように、特性にあつた支援を行うことで、それぞれの強みを生かすことができます。できたこと、やれたことを重ねることが、自尊心の低下を防ぐことになります。そのことは、大人になってから様々な取り組みを行うのに必要になってしまいます。周囲の人の障害への理解が、発達障害のあられる人が地域で生活を行うためには不可欠です。

## プロフィール



1996(平成8)年、日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科卒業。1998(平成10)年まで奈良県や神戸市で、地域の中学校障害児学級、養護学校で講師として勤務。社会福祉法人あかりの家生活校で指導員、ひょうご自閉症・発達障害支援センター(フローバー)主任相談支援員などを経て、2009(平成21)年4月から現職。

# 障害のある人への就労支援

本年6月『安倍総理と障害者の集い』が総理官邸であり、Aさんと共に出席しました。Aさんは重度の知的障害があり、ダウン症です。加古川はぐるまの家で5年間、職業訓練を受けた後、パン製造会社に就職。正社員として21年間勤務しています。席上Aさんが「会社で働きたい」という強い意志と職場に受け入れる体制があれば働き続けられる」と語ついたことが、とても印象的でした。

さて、加古川はぐるま福祉会は開設当初より、「障害があつても大人になれば働く」とが当たり前…と考え、働く環境を整えて利用者と職員が共に働き、その延長線上に、就職による社会参加を推進し「働く幸せ」を実現してきました。

開設から37年。障害者自立支援法の施行や各種法改正により、福祉施設から一般就職を推進するための道筋が開かれ、地域社会の理解も随分進みました。現在、当会では加古川はぐるまの家の「就労移行支援事業」「就労継続支援(B型事業)」と加古川市立就労支援

センター、そして国から委託を受けて障害者就業・生活支援センター等を運営しています。

各事業を利用する方の多くは生活のしづらさや、自分に自信が持てないといった課題を抱えています。そのため、まずは個々の得意なことや興味・関心のあることを見つける手助けを行い、その得意なことを生かすための働く環境整備を行っています。仕事を通じて周りから認められたり、頼りにされたりすることにより、働く意欲や自ら学ぶ力が沸いてきます。

自分の得意・不得意を知り、自己理解を深めると共に職業準備性※を確認しながら、自分の得意を生かす職場開拓を行い、会社の方等の支援を受けて施設から巣立っていきます。就職後も長く働き続けるために、途切れのない定着支援に加えて、企業支援や家族支援も関係機関と連携しながら行っています。自分が決めた自分らしい生き方、働き方が実現できるように、そして一人の人間としての権利と人権を擁護するという視点を大切に、これからも共に寄り添い歩んでいきたいと願っています。

(社福)加古川はぐるま福祉会  
理事長兼センター長

高井 敏子さん

※働くことについての理解・生活習慣・行動遂行能力や対人関係のスキルなど基礎的な能力のこと



社会福祉法人 加古川はぐるま福祉会  
所在地 加古川市山手1丁目11番10号  
電話 079(438)8728

1980(昭和55)年就労による社会参加を推進するために設立。就労支援センター、障害者就業・生活支援センターの運営を通して支援してきた就職者は400人を超える。

## プロフィール

1971(昭和46)年、東京女子体育大学卒業。1980(昭和55)年、加古川はぐるま福祉会に授産施設指導員として採用。加古川はぐるま福祉会理事や「加古川はぐるまの家」施設長を経て、2002(平成14)年から加古川障害者就業・生活支援センター長を兼務。現在に至る。

## 天才児ひなとかのんの おひさま日記1~5

著者 森山和泉さん  
発行所 琉球新報社

## 新着図書紹介

読み進めていくと、広汎性発達障害の特徴が6コマの絵を通して浮かび上がります。収められたエピソードには「指示は丁寧に」「驚くべき集中力」等の特性に沿ったタイトルがつけられ、子どもたちへの理解やサポートの在り方が分かりやすく説明されています。

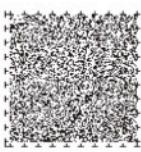
子どもたちの生活を支援するアイデア、ヒントが満載で、障害のある子どもたちへの理解を深めることができる書籍です。

著者の森山さんは、

神戸在住のクリエイターで、神戸新聞で「泣いたら笑つたり発達障害の双子の歩み」

を連載中。

5



# 拉致問題の早期解決を願つて



## 拉致問題への理解を深める

1970年代から80年代にかけて、北朝鮮当局により日本人が拉致される事件が多発しました。政府認定拉致被害者17人のうち、兵庫県関係者では有本恵子さん、田中実さんのお二人が認定を受けています。そのほか、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない行方不明者(特定失踪者)も数多くおられます。2002(平成14)年9月に北朝鮮は、初めて日本人の拉致を認め、同年10月に5人の被害者が帰国しましたが、そのほかの被害者についての安否に関する納得のいく説明はありません。

拉致問題は、国民の生命と安全に関わる一刻も早く解決しなければならない重大な人権侵害問題です。私たち一人ひとりが拉致問題についての関心を高め、理解を深めていくことが大切です。

## 民意を結集して解決をめざす

政府や地方自治体などでは、北朝鮮当局による拉致問題の啓発を促進するため、国民のつどいを各地で開催しています。

10月15日には、鳥取県米子市内で府や鳥取県などが主催する「拉致問題の早期解決を願う国民のつどい in 米子」が開催されました。

臣は「政府は家族に寄り添つて対話と圧力、行動対行動に基づくあらゆる施策で、解決をめざす」とあります。1977(昭和52)年に、米子市内で拉致された松本京子さんの兄、松本孟さんをはじめとする拉致被害者家族や特定失踪者家族らが「どんなに時間がかかっても、諦めるわけにはいかない。」とメッセージを伝えました。続いて、大山町立中山小学校の児童が、拉致問題に関する学習を通じて感じた、命や人権の大切さを呼びかけました。

横田めぐみさんの弟で、家族会事務局長の横田拓也さんが講演し「解決には政府の取り組みが不可欠。動かすのは国民一人ひとりの声」と市民ら約250人に訴えました。参加者は熱心に話に聞き入り、問題に対する意識を高めました。

## 拉致問題の早期解決を願う国民のつどい in 米子

～すべての拉致被害者の一刻も早い帰国実現を目指して～

主催／政府 拉致問題対策本部、鳥取県、米子市、日南町、大山町、伯耆町 北朝鮮拉致問題早期解決促進鳥取県議員連盟  
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための鳥取の会



早期解決に向けた政府の決意を示す加藤勝信拉致問題担当大臣

兵庫県警では、北朝鮮による「拉致容疑事案」被害者の有本恵子さんと田中実さんにに関する情報や、「拉致の可能性を排除できない事案」に係る行方不明者の方々に関する情報提供を求めています。

お心当たりのある方は、兵庫県警察本部外事課まで情報を寄せください。

皆様のご協力をお願いします。

兵庫県警察本部外事課 代表電話 078(341)7441  
詳しくは、[兵庫県警察](#) 検索

## ●●○ 隣保館マルシェ2016へいらっしゃい! ○●●

**日時** 平成28年12月10日(土)  
10:30~15:00

**場所** 加古川市人権文化センター  
TEL 079(451)5030  
(加古川市加古川町備後332-1)  
※JR加古川駅(北側)から直通の無料送迎  
バスがあるのでご利用ください。

### 問合せ先

兵庫県隣保館連絡協議会 事務局(たつの市立総合隣保館内)  
TEL&FAX 0791(67)0090

### 内容

### 来て観て

ステージ発表(午前・午後)

子ども和太鼓・レザーファッションショーDVD上映(龍野北高校)・  
伝統民舞「一夜ごら」など

### やってみて

皮革細工教室

### 食べてみて

地域の食文化体験 ホルモン鍋・肉めしなど

### 買ってみて

地域の特産品販売 朝採れ野菜・皮革工芸品など

### 見てみて

展示

- 各隣保館の特色ある活動の紹介

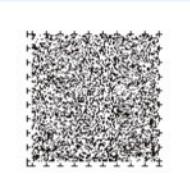
- 「フードバンク」、「こども食堂」の紹介

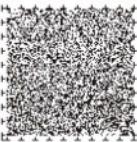
- フードドライブ

家庭で余っている食品を福祉団体・施設に寄付します。

(詳細は左記問合せ先へ)

ふれあい喫茶コーナー





# ふれあいサロン

## 読者からのお便り

10月号の特集「職場と人権」大変良かったです。特に、メンタルヘルスについてです。現在ストレスに悩まされ、改善したいと思っているところです。独身女性に対して、もっと優しい世の中になつてほしい…独身でももっと人間として尊重されたいと強く願っています。

(芦屋市・前田麗佳さん)

いつも楽しく読ませていただいています。おおたわ史絵さんのコラムを読んで、仕事でストレスがたまつたら気分転換していき、プライベートも充実させていきたいと思います。職場で悩んでいる方を見かけたら支えていきたいです。

(篠山市・星野あかねさん)

いつも楽しく読ませていただいています。クイズで頭の体操もしています。P&Gの小さな声を製品開発や販売に役立てている会社の素晴らしいしさになるほどと思いました。

(宝塚市・檜山弘子さん)



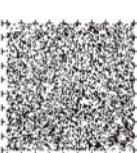
## ＼投稿&クロスワードで「チューブdeストレッチ」をプレゼント！／

「読者からのお便り」の投稿掲載者(平成29年2月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)に、「チューブdeストレッチ」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見やご感想、人々とのふれあいを通した心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

\*投稿はペンネームの使用も可能です。※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

### 応募方法 締め切り

はがき、FAX、メールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。1月6日(金)締め切り(必着)



### 応募先

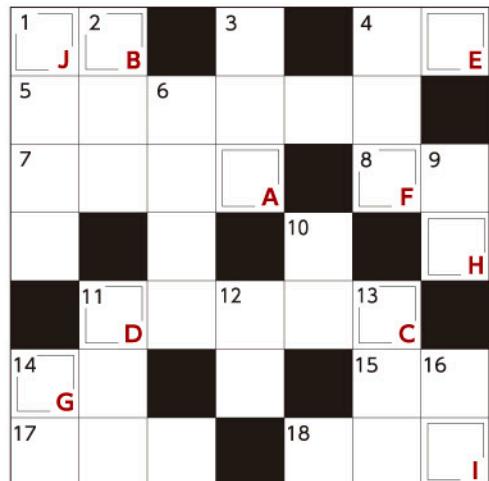
〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内

(公財)兵庫県人権啓発協会 「きずな」ふれあい広場係

TEL:078(242)5355 FAX:078(242)5360 Eメール:info@hyogo-jinken.or.jp

\*応募者および投稿者の個人情報は、管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。

## 問 A～Jの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう？



### ○ たてのカギ

- あわただしい年末
- 定期的ではなく、その時々に応じて行うこと。「〇〇〇ニュース」
- 読み方は同じでも漢字によって意味が「非常に巧みな言葉」となったり「絶対に口にしてはいけない言葉」となったりします
- 二者の間の橋渡しをする人や組織。「〇〇〇役」
- 今年もご苦労様でした…と〇〇〇〇の言葉をかける
- 薄赤色のワイン。“バラ色”が語源です
- 問題解決のための重要な手がかりとなる〇〇ポイント・〇〇ワード
- 時機を逸して「あと〇〇〇」と悔やむことのないようにしたいですね
- ふたつまたはふたりで一組になっているもの
- 水墨画。黒色の濃淡の調子によって描きます
- スーパーマーケットや飲食店などで代金の清算を行う場所
- 日本に43あります

### ○ よこのカギ

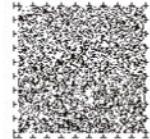
- 来年のエトは?
- 審査・試験などに合格すること
- 12月は忘年会、では1月は?
- 毎年多くの優秀な作品が寄せられる〇〇〇〇文芸賞
- 反対語は「アマ」です
- 何でも人に合わせようとする必要はありません。自分に適した速度でいきましょう
- おいしいと評判の店の前に出来ていたりします。
- 白・黒・褐色の三色が混じった毛色。「〇〇猫」
- ひとりだち。自分一人の力で物事をやっていくこと
- 他人を支え助けること。「〇〇〇〇の手を差し伸べる」

### 10月号の答え タノシモウアキノヨナガ





# 情報ぶらざ



## のじぎく文芸賞の入賞者が決定

平成28年度のじぎく文芸賞には、1,276点（一般の部108点、学齢児童生徒の部1,168点）応募がありました。審査の結果、右記のとおり入賞者を決定しました。12月2日（金）の「人権のつどい」（13:30～兵庫県公館）で表彰式を行います。

作品の一部を本誌で紹介するほか、最優秀・優秀作品は協会のホームページにも掲載します。

賞名	部門	部	作者名（敬称略）	作品名
最優秀賞	小説	一般	上松 敏治	うちの子に障害はない!
	随想	一般	塚口 佳子	新たなる、この温もりの中で
	詩	学齢	内藤 康哉	輝け
	創作童話	一般	阿部 智美	真実
優秀賞	小説	一般	阿部 忠彦	河上直子、二十二歳、新任
	学齢	織田 香音	いま、伝えたいことがある。	
	隨想	一般	東森美恵子	優しさをつないで
	学齢	森本 紗英	よりよい社会にするには	
	詩	一般	尾崎 順子	夕焼け
	学齢	森本宝乃実	大丈夫のリボン	
創作童話	一般	森園 順子	ごめんがいいっぱいと、大きなありがとうが一つ	
	学齢	鈴木 聖生	心の国のかけ橋	

\*学齢＝学齢児童生徒（中学生以下）



INAC KOBE (Photo By T.INOU)

わたしたちも  
“人権文化をすすめる県民運動”を  
応援しています！



HANSHIN  
Tigers

©阪神タイガース

## イベントガイド

他のイベント情報は、当協会ホームページ「研修会・イベント情報」をご覧ください。

第12回 淡路市 人権を考える集い	<p>日時 12月3日（土）13:30～16:30 場所 淡路市立一宮ふるさとセンター ※津名一宮インターチェンジから車で伊弉諾神宮方面に進み、一宮中学校前から約1分 2016（平成28）年度人権ポスター・標語作品入賞者表彰式 朗読劇 劇団「表現者チェスナツツ」（くりちゃん・君子蘭：洲本市） 新ちゃんのお笑い人権高座 露の新治さん（落語家）</p>	<p>問い合わせ 淡路市市民生活部人権推進課 <b>TEL 0799(64)2521</b> <b>FAX 0799(64)2565</b></p>
人権週間 「多可町民の集い」	<p>日時 12月8日（木）19:00～21:00 場所 多可町文化会館ベルディーホール ※滝野社ICまたは加西ICから車で多可町方面に進み、中央公民館前から約1分 人権作文・詩・標語・ポスター入選作品表彰、人権作文の発表、人権講演会 演題「人権文化の花咲く街づくり～子どもたちにラブレターを書こう～」 ●講師 新保真紀子さん（神戸親和女子大学 発達教育学部 客員教授）</p>	<p>問い合わせ 多可町生涯学習課人権啓発推進室 <b>TEL 0795(32)1389</b> <b>FAX 0795(32)1389</b></p>

## 人権に関する川柳を 募集します！

いずれかのテーマに当てはまる川柳を募集します。  
「きずな」に掲載された方には、オリジナルクリアファイル  
をプレゼント。



### 人権の気づき、いのち、人権全般

**応募方法** はがき、FAX、メールで受け付け。  
郵便番号、住所、名前（ペンネームの場合も併記）、年  
齢を明記のうえ、ご応募ください。応募は各テーマ  
お一人1点とします。1月6日（金）締め切り。

インターネット上を含む未発表・未投稿の自作の作品に限ります。

応募先（公財）兵庫県人権啓発協会（下記参照）

「きずな」は、協会ホームページからもご覧になれます。



ハーフ  
half  
タイム  
time

リオで開催されたパラリン  
ピックでは、アスリートの活躍が  
観客に感動を与えました。報道に  
よると、会場はもちろん周辺施設  
にはバリアフリーへの配慮が数  
多く見られる大会だったこと  
です。

次はいよいよ東京大会。そのコ  
ンセプトの一つは多様性と調和  
です。日本においては、障害者差別解消法の施行と相ま  
って、共生社会をめざす機運が高まっていると感じます。ス  
ポーツ以外の分野も含めて、一人ひとりが大切にされる「障  
壁」のない社会づくりに向けて、一緒に考えていきたいと思  
います。（小池）

